

**製品名: AR- $\alpha$ 1B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07191**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ADRA1B
別名	ADRA1B; Alpha-1B adrenergic receptor; Alpha-1B adrenoreceptor; Alpha-1B adrenoceptor
遺伝子 ID	147.0
SwissProt ID	P35368
免疫原	抗血清はヒト ADRA1B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 431-480

**背景**

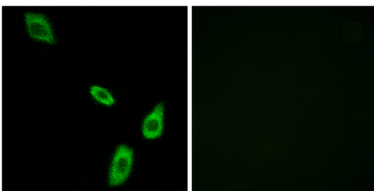
$\alpha$ 1 アドレナリン受容体 ( $\alpha$ 1AR) は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーのメンバーです。これらの受容体は、細胞分裂促進反応を活性化し、多くの細胞の増殖と成長を制御します。 $\alpha$ 1AR には、 $\alpha$ 1A、 $\alpha$ 1B、 $\alpha$ 1D の3つのサブタイプがあり、いずれも G

タンパク質の Gq/11 ファミリーを介してシグナル伝達を行い、サブタイプによって活性化パターンが異なります。この遺伝子は、NIH 3T3 線維芽細胞などの細胞株に導入すると腫瘍性形質転換を誘導する  $\alpha 1B$  アドレナリン受容体をコードしています。したがって、この正常な細胞遺伝子はプロトオンコゲンとして同定されています。この遺伝子は、2つのエクソンと、コード領域を分断する少なくとも 20 kb の単一の大きなイントロンで構成されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能:この  $\alpha$  アドレナリン受容体は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G タンパク質との結合によってその作用を媒介します。、類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、

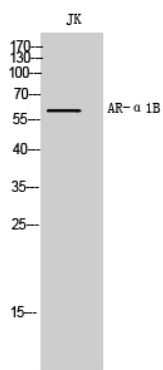
## 研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;血管平滑筋収縮;

## 画像データ



ADRA1B 抗体を用いた LOVO 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



AR- $\alpha 1B$  ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析